

(別紙様式)

業務改善の実施状況報告

組織名	近畿中国森林管理局 石川森林管理署	連絡先	050-3160-6100
所管する業務の概要	国有林野の管理経営、民有林の森林整備等の指導、治山事業等の実施等		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
(1) 業務における心構え ・昨年度受講した接遇研修で学習した「丁寧・誠実・正直」を基本とした、外部対応を継続。 ・人事評価制度に基づき、組織の業務目標を設定し、面談による業務内容の確認と、目標の共有化を継続。 ・民有林施策について、林業関係者が参集する会議等の場を活用し、情報収集に努めている。 ・治山など専門業務について、外部への説明については、専門用語を一般的に通用する言葉や文章に置き換え、また、説明書きを加えるなど工夫している。	・周囲の職員も留意し、必ず複数の職員で対応する。 ・今後とも適切に実施。 ・会議等では積極的に発言し、話のきっかけをつくる。 ・今後も、「これで理解されているか」と疑問を持つことが必要。
(2) 農林水産業の振興と消費者利益の関係 ・治山事業について多くの人への周知・理解を深めるため、パネル展示を実施。	・今後も、内容を検討しながら、継続する。なお、当年度は地元住民を対象とした見学会を計画する。
(3) 国民の意見、要請、苦情に対する姿勢。 ・要請、苦情に対しては、必ず相手方の連絡先を確認しておき、即座の現地確認と回答に努めている。	・担当者が不在でも、受信者が正確に聞き取っておき、対応が即時可能となるように努める。
(4) 国民への情報提供姿勢 ・イベントへの参加を積極的に実施。 ・国有林の看板、表示板について、老朽化により汚損したものについて、設置場所と必要性を検討し、必要なもの	・今後も継続。 ・今後も見る側の立場で、検討する必要がある。

については取替を実施。

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
政策・事業（業務）等の企画立案・推進に関する取組 (1) 業務の点検、分析・検証 ・来訪者への対応について、こちらから声かけ、挨拶の実施など継続。 ・業務部門の牽制機能として入札、検査への適切な対応。	・今後も丁寧な対応を継続する。 ・今後もコンプライアンスの遵守に努める。
(2) ニーズの把握等の取組 ・外部からの提案、苦情、その他の情報収集のため、会話する場合には聞き役に徹するなど、相手方が話し易い雰囲気づくりに努めている。 ・毎年「国有林野所在市町村長有志協議会」を開催し、地元ニーズの把握に努めている。 ・毎年、治山事業地内での自然保護団体によるボランティア活動について継続して受け入れ。	・把握したニーズ等については、速やかな対応に努める。 ・今後も継続し、地元ニーズに応えてゆく。 ・今後も継続。
(3) 関係部署との情報交換 ・機会ある毎に、関係する上局、或いは現場事務所と情報交換を行っている。	・今後も即時の情報交換が可能となるよう、職員に意識を持たせる。
(4) 職員や業者等への説明方法 ・相手方に理解され易いよう、資料等を活用し、分かり易い説明に努めている。 ・海岸部の国有林に関係する、地元市、町内会長との意見交換を継続。	・理解されやすい説明方法、説明資料について常に考えながら内容の向上に努める。 ・今後も継続。
リスク管理に関する取組 (1) リスク管理の手順・ルール ・重大災害の教訓を生かし、連絡体制の点検、整備を継続。 ・事業実施に伴う関係法令協議について、署内で必ずチェ	・常に最善の方法を検討、見直しを行い整備を行う。 ・事業実施に支障を来さぬよう早めの事務処理に努める。

ックを実施。	
(2)過去の失敗や教訓の活用 ・BSE、事故米問題のことから、全ての事案に対しそれぞれ最善の方法を検討している。 ・ヒヤリ・ハット事例を参考にし、また、月ごとの安全目標を業務に取り入れ、各職員に周知。	・問題発生時には、必ず早期に確認と打ち合わせを行い、情報共有と最善策を検討する。 ・今後も継続。

3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
・職員間で自由に意見が言えることが重要であり、定例の会議以外の場でも、打ち合わせや意見交換を実施。 ・豪雪地域のため、山間部での現場作業期間が約5ヶ月間と制限されており、情報共有と相互牽制に努め、スムーズな業務進行に努めている。	・引き続き職員全てが、自由に意見を言える雰囲気作りに努める。 ・打ち合わせ不十分な内容が見受けられたが、相互牽制により修正を行った。今後も牽制機能が適切に機能するよう努める。

4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
・特になし	